

テセントリク+アブラキサン療法 (Day1,15)【60分】

【外科】206-1,15【乳癌】

(第 コース目)

■エンボス

*網かけ部分は必須記入事項

診療科:	病棟:
医師名:	印
身長: cm	体重: kg
体表面積: m ²	Cr: mg/dL

■レジメン 下記が1コースの投与スケジュール : 4週ごとを1コースとする

Day	1	8	15	22	~28
施行日	/	/	/	/	
テセントリク	↓	休薬	↓	休薬	
アブラキサン	↓	↓	↓	休薬	

■投与順序 ※マークは同タイミング投与薬あり

滴下順	
①	インラインフィルター付きルート (品番:JP-PFP321F7)を使用 生食 50mL 10分
②	●テセントリク()mg 生食 250mL 1時間
※③	生食 250mL 1時間30分
※③	インラインフィルターは使用しない デキサート注6.6mg 1V 生食 100mL 30分
④	生食 50mL 10分
⑤	●アブラキサン()mg 生食 50mL 30分
⑥	生食 50mL 10分フラッシュ

■投与量 ※投与量の参考

薬剤名	標準投与量
テセントリク	840mg/body
アブラキサン	100 mg/m ² mg/Body

入力 薬剤師	看護師	看護師

■注意・確認事項

- 主管点滴ルートは、インラインフィルター付きルート(品番:JP-PFP321F7)を使用すること。
側管投与の薬剤はインラインフィルター下部のコネクターに接続して投与すること。
- テセントリクは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分間まで短縮できる。
- テセントリクの血管外漏出時は、非炎症性抗がん剤としてマニュアルに沿った対応をすること。
- アブラキサンは特定生物由来製剤(人血清アルブミン含有)の為、「血漿分画製剤の使用に関する同意書」を取得すること。また、投与終了後は「特定生物由来薬品実施確認表」を薬剤部へ返却すること(20年保管)。
- OPD-L1陽性のTripleNegative乳癌に対して適応あり。